



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町 2-10) 例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

世界へのプレゼントになろう

平成27年 11月17日(火) 第2737回 例会 (本年度第16回)

12月 1日(火)	理事会・クラブ年次総会 新入会員スピーチ 阿部正剛君
12月 5日(土)	第2ブロックIM・第2ブロック6RC合同例会
12月 8日(火)	第2ブロックIMの振替休会
12月15日(火)	ゲストスピーチ 出羽庄内国際村勤務・元米山奨学生 楊(ヤン)さん



Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

会長報告

会長/越智茂昭

1 RAC 地区代表公式訪問について

11月15日(日)ロータアクトクラブ地区代表公式訪問例会がありました。RAC 委員会委員長佐藤久樹さんと二人で参加しました。

クラブや地区の現状、問題点、今後の予定などが活発に話し合わせ、大変有意義な例会でした。その中で問題点

(1) 第13回 APRRC (アジア太平洋地域ロータアクト会議)、第28回全国ロータアクト研修会、3月18日(金)~21日(月)に京都で開催。鶴岡 RAC から3名参加で調整中。

(2) 会員増強

今年度末で4名の退会が見込まれるので会員増強が急務。

☆国のリーダーの責務

10月31日に起きたロシア航空機の墜落で224名、そして先日13日に起こったフランス、パリで128名の方がテロで亡くなりました。

主権、国民の命を守るべき大統領、ロシアのプーチン氏とフランスのオランド氏の対応、そしてマスコミなどの取り上げ方かなりの差があると感じました。ロシア航空機について、ロシアはテロとは断定してないので差はあるとは思いますがそれにしてもちょっと違いがありすぎると感じました。

国家のトップとして国民の命を守るということは大統領または首相という国家のリーダーとしては相当重いものと考えています。

1977年に日本赤軍にハイジャックされた日本航空機、その人質を救出するため当時の福田赳夫内閣総理大臣が「人の命は地球より重い」と述べて、身

代金600万ドルの支払いおよび、超法規的措置として獄中メンバーなどを引き渡し、テロに屈したことになります。

そして、1994年に総理大臣となった社会党党首、村山富市氏も主権を守るためには自衛隊は必要であると認めました。村山氏は非武装中立、自衛隊は憲法違反との自身の主張、主義を捨てただけでなく社会党もつぶしてしまいました。

国家のリーダーになるということは大変なようです。今年の始めに起きたイスラム国による日本人二人の人質事件による安倍晋三総理によるテロとは取引をしないということで、次の人質事件を引き起こさない配慮をしました。この時は自己責任という言葉がかなり出てきましたが、国民の命を守る首相としては日本国民である限りは命を守らなくてはなりません。国家のリーダーとしては自己責任とは言えないのです。

トップ、リーダーになると村山氏のように人が変わるとよく聞きます。会員の皆さんは会社などでリーダーとして仕事をされていますので、その重責は良く分かるのではと思います。

幹事報告

幹事/武田啓之

○ガバナー事務所

青少年奉仕セミナー延期のお知らせ

日時: 11月22日(日) 延期となります。

場所: ホテルサンルート米沢

守りの力(抵抗力)を高める

鶴岡警察署 署長 近藤好司氏

警察の業界新聞に掲載された興味深い記事を引用して話を進めたいと思います。

時は江戸時代、1797年(寛永)~1832年(天保)

出席報告	会員数	35名
	出席	23名
	出席率	69.70%
	前々回確定出席率	59.38%

RI 会長 K.R. "ラビ" ラビンドラン ■地区ガバナー 酒井 彰

■会長/越智茂昭 ■副会長/木村 節 ■幹事/武田啓之 ■会長エレクト/加藤 亨
■会報委員会/佐藤詩郎・阿部純次・菅原成規

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376



に暗躍した大名屋敷専門の大泥棒、鼠小僧の話です。鼠小僧は、生涯で2度しか捕まっていません。江戸町奉行所の取調記録・自供記録「鼠賊白状記」によれば、大名屋敷「99箇所、122回」の泥棒を白状しています。

鼠は、「武士たちは、守りについて過信し、メンツがあって届け出ない」といっています。これは、被害に遭っても緘口令を敷き、届けを出さない（無届）、隣の大名屋敷が被害に遭ったことを誰も知らない（無知）、侵入手口や被害が伝わらないから、また被害にあう（悪循環）ということになります。つまり、武士の守りの脆弱性を見事に突いたのが鼠であったということです。

この話から、3つの問題点が浮き彫りになります。①は、防犯システムの備えのこと ②は、届け出をしなかったこと ③は、防犯情報の共有がされなかったことです。

このように、犯罪や事故から身を守るためには、発生状況を正確に把握して、これを生かして、抵抗力を高めることがなにより不可欠です。

情報はこまめに流して、皆に気付いてもらうことが重要です。その方法は、口コミ、新聞・テレビ等のメディアからの広報、交番や駐在所のミニ広報誌、ホームページ、警察職員が寸劇している例、近頃では、110ネットワークといった安全安心メールシステムも用いています。

近頃特に活発に広報しているのは、「特殊詐欺」です。これについては、騙しの電話が来たことについて細々と頻繁に広報しています。こうして、犯人のやり口について気付いてもらうための広報をしています。皮肉なことに、犯人がこの情報を分析して別のやり方に移っていくというように、変化著しい犯人側の悪知恵との戦いを繰り広げています。

次に、犯罪に遭わないまちづくりに知見を生かすということについてお話しします。「防犯環境設計」という考え方があります。建物や街路等の物理的な設計・整備面から犯罪を予防するというので、その設計に当たって、犯罪の分析により集積した知見を生かそうとするものです。防犯環境設計 4つの手法を簡単に紹介します。

一つは、「自然監視性の確保」といって

人から見られている状況や自然や目を配られている状況を創出するものです。周囲から見通しの良い建物の構造や外部照明を改善することで、住民の目が自然に届く環境を作るようにするものです。

二つは、「領域性の確保」といって

連帯・縄張りの意思を示す地域の力です。住民と周辺環境の整備、管理の維持や地域コミュニティの形成により、部外者が侵入しにくい環境を作るものです。

三つ目は、「接近の制御」といって

物理的、心理的に住宅に接近しにくい構造により、侵入経路を制御するものです。

四つ目は、「対象物の強化」といって

ドア錠や窓ガラス、建材などを物理的に強化し、侵入を防ぐというものです。

中でも特に目を見張る効果があるものは「接近の制御」の手段の一つである防犯カメラです。防犯カメラの効果を私なりに並べてみますと、犯行を思いとどまらせる「人の目」の代わりになり犯罪の減少に直結します。そして、住民等の安心感に寄与できます。また、事件・事故の解決では、近頃特に役立っています。更には迷惑行為やトラブルの防止と解決等の私的な場面で有効活用が期待できます。運転ではドライブレコーダー、業務では室内外のカメラが自分や会社を守ることに役立ちます。犯罪者が好むのは「入りやすく、見えにくい」ところで、これがキーワードです。入りやすい場所は簡単に、怪しまれずに、近づき、邪魔されず、逃げやすいところ、そして見えにくい場所は、気付かれず（目撃されない）、邪魔されず（通報されない）ところです。

こうした視点から地域の守りをして、抵抗力を高めて頂きたいと思います。

○おわりに

犯罪にも交通事故にも遭わないという安全で安心な鶴岡を作ることを署員皆で頑張っておりますが、警察ができるものは、限られています。

社会の抵抗力を高めるうえで、特に、防犯のための環境の整備などについては、何とか「民の力で」と声かけをしているので、どうかよろしくお願ひしたいと思います。

委員会報告

出席委員会

◆ゲスト

鶴岡警察署長 警視 近藤好司氏

鶴岡警察署警務課長 警部 近 俊隆氏

◆メイクされた方

阿部純次君・佐藤孝子君・富田喜美子君・佐藤久樹君



武田啓之君 近藤署長これからも地域の安全、安心よろしくお願ひします。

加藤一弘君 10月25日に30年ぶりの行事があり、藤川さんよりお手伝いをいただきました。例会も休み御迷惑をおかけ致しスマイル致します。

佐藤孝子君 近藤署長、卓話ありがとうございました。ガバナー賞頂きお礼申し上げます。

阿部純次君 父の逝去にクラブより悔みの香典を頂戴し恐縮しております。

富樫松夫君 ①木村ガバナー補佐、IMのご案内有難うございます。②武田さんの入会歓迎致します。宜しくお願ひ致します。③嶋村さんの卓話有難うございました。